

2023年11月15日

報道関係者各位

慶應義塾

湘南藤沢キャンパスにおける カーボンニュートラル都市ガスの導入について －慶應義塾のカーボンニュートラル化に向けて－

慶應義塾（東京都港区、塾長：伊藤 公平）と東京ガス株式会社（東京都港区、社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、カーボンニュートラル都市ガス（以下「CN 都市ガス」）の供給に関する基本合意書を締結し、湘南藤沢キャンパスで使用する都市ガスの全量を CN 都市ガスに切り替えました。なお、導入開始に伴い、「カーボンニュートラル LNG バイヤーズアライアンス」加盟しています。

1. CN 都市ガス導入の概要

対象キャンパス	湘南藤沢キャンパス（神奈川県藤沢市遠藤 5322 ほか）
供給者	東京ガス株式会社
導入量	湘南藤沢キャンパスで使用する都市ガスの全量
導入開始時期	2023年11月1日

2. CN 都市ガス導入による効果

CN 都市ガス導入による CO₂ 排出削減貢献量は約 1,400t-CO₂/年で、これは湘南藤沢キャンパスにおける年間 CO₂ 排出量の約 39%に相当し、2030 年度を目標年として推進している湘南藤沢キャンパスのカーボンニュートラル化の実現に貢献します。

また、「カーボンニュートラル LNG バイヤーズアライアンス」に加盟することにより、慶應義塾のカーボンニュートラルに対する取り組みが広く周知されるとともに、加盟している大学・企業などと情報交換することで、持続可能なキャンパスの実現を目指します。

◆湘南藤沢キャンパスについて

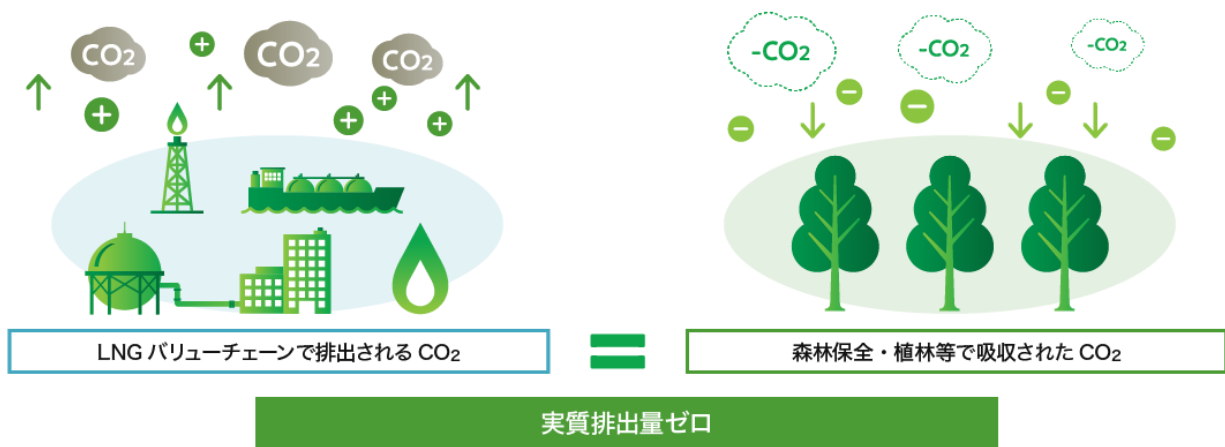
湘南藤沢キャンパス（SFC）は、総合政策、環境情報、看護医療の 3 学部と、政策・メディア、健康マネジメントの 2 研究科を擁するキャンパスです。最新の技術と豊かな自然が調和する空間で、敷地面積は約 10 万坪。およそ 5000 人の学生が通い、キャンパスの中には寮もあります。2030 年までにカーボンニュートラルを達成する目標を掲げています。

<参照> <https://www.sfc.keio.ac.jp/news/017125.html>

◆CN 都市ガスについて

液化天然ガス（以下「LNG」）の採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、新興国等における環境保全プロジェクトにより創出された CO₂ クレジットで相殺（カーボン・オフセット）した LNG をカーボンニュートラル LNG（以下「CNL」）と称します。CN 都市ガスとは、地球規模で使用しても CO₂ が発生しないとみなされる CNL を活用した都市ガスのことです。環境保全プロジェクトは、地球規模での温室効果ガス削減・排出抑制に加え、現地での雇用の創出や生物多様性の保護等、SDGs の目標にも関連しています。CN 都市ガスの活用は、持続可能な社会の実現に貢献します。

バリューチェーン全体で排出される温室効果ガスを、森林保全等で創出された CO₂ クレジットで相殺することにより、地球規模では排出量がゼロとみなされます。



◆カーボンニュートラル LNG（CNL）バイヤーズアライアンスについて

持続可能な社会の実現に向け、CNL を調達・供給する東京ガスと購入する企業・法人が一丸となり、CNL の普及拡大とその利用価値向上の実現を目的として、2021 年 3 月に設立したものです。本アライアンス参画企業・法人は、2050 年の「カーボンニュートラル社会の実現」に貢献することを目指し、CNL を世の中に広く認知させるとともに、投資機関による評価向上や国内各種制度における位置づけの確立に向けて取り組みを推進しています。

<参照> <https://carbon-neutral-lng.jp/>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社社会部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（唐）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>